

第12回 ビバホール チェロコンクール

会場 養父市立ビバホール

- 一次予選 2016年 7月13日(水) 午前10時開始予定(入場無料)
- 7月14日(木) 午前10時開始予定(入場無料)
- 二次予選 7月15日(金) 午前10時開始予定(入場無料)
- 本選 7月17日(日) 午後0時開始予定(有料)

■一次・二次予選は入場無料ですが、整理券が必要です。
■本選のみ有料。(チケット料金)500円(学生無料)



審査員

(委員長) 堤 剛
秋津智承・苅田雅治・河野文昭・斎藤建寛
花崎 薫・藤森亮一・松波恵子

主催 ■ 養父市・養父市教育委員会
ビバホールチェロコンクール実行委員会

後援 ■ 兵庫県、NHK神戸放送局、サンテレビジョン
朝日新聞豊岡支局、神戸新聞社、毎日新聞豊岡支局
読売新聞豊岡支局、産経新聞社、日本チェロ協会

お問い合わせ

養父市立 養父公民館・ビバホール

〒667-0101 兵庫県養父市広谷250番地
TEL.079-664-1141・FAX.079-664-1363

【URL】 <http://www.fureai-net.tv/VIVAHALL/>

【E-mail】 viva.cello.1994@gmail.com



若きチェリストの熱戦に皆さんの応援を

このコンクールは、ビバホールチェロコンクール実行委員会(委員長: 広瀬栄養父市長)と同運営委員会(委員長: 井上正司)が中心になり、市民参加で若いチェロ奏者を発掘・育成することを通して、養父市の文化の高揚とイメージアップを図ることを目的に開催しています。今回で、第12回目を迎えます。今では若手チェリストの登竜門と言われるようになりました。ぜひ、多くの皆さんにご来場いただき、若きチェリストを応援してくださいませようお願いします。

※開催日、入場整理券などのお問い合わせ先は、表面に記載していますのでご覧ください。

コンクールを支えていただく審査員の先生

審査員長 堤 剛(つづみ つよし)



桐朋学園音楽高校在学中から、斎藤秀雄氏に師事し、在学中よりNHK交響楽団をはじめとする各オーケストラと共演。1956年文化放送音楽賞受賞。57年日本音楽コンクール第1位および特賞を受賞。61年アメリカのインディアナ大学に留学し、J. シュタルケルに師事。63年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位、カザルス国際チェロコンクール第1位など、その活躍は若い時代から世界各地に及ぶ。84年パリにおける武満徹のチェロ協奏曲「オリオンとプレアデス」の世界初演をはじめ、わが国の現代作品の演奏にも力を注いでいる。平成25年度文化功労者に選ばれる。現在、桐朋学園大学特任教授、日本チェロ協会会長、サントリー芸術財団代表理事、サントリーホール館長、日本演奏連盟理事長、日本芸術院会員。

審査員 秋津 智承(あきつ ちしょう)



僧侶で、またチェリストとして広島を本拠に活動している。桐朋学園大学、ボストン・ニューイングランド音楽院を卒業。第46回日本音楽コンクール第2位、第8回チャイコフスキー国際コンクール第7位入賞。仙台フィルハーモニー管弦楽団、広島交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団の客演首席、水戸室内管弦楽団メンバーを歴任。現在、浄土真宗本願寺派・願船坊住職。

審査員 菊田 雅治(かんだ まさはる)



桐朋学園大学で井上頼豊氏に師事。1973年第42回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位。82~90年東京都交響楽団首席チェロ奏者を務める。82年よりニューアーツ弦楽四重奏団に参加し、団として92年第4回飛騨古川音楽大賞奨励賞、94年度文化庁芸術祭賞、94年度第13回中島健蔵音楽賞を受賞した。個人としても92年度第11回中島健蔵音楽賞受賞。2005年秋、弦楽四重奏団クワトロ・ピアチェーリを結成。06年11月からスタートした定期演奏会で、ショスタコーヴィチの全弦楽四重奏を演奏するプロジェクトを開催。2010年11月に開催した第9回定期演奏会で、平成22年度第65回文化庁芸術祭大賞を受賞。現在、東京音楽大学教授、桐朋学園大学非常勤講師、東京藝術大学非常勤講師。

審査員 河野 文昭(こうの ふみあき)



兵庫県立神戸高校在学中にチェロを始める。京都市立芸術大学にて黒沼俊夫氏に師事。芸大卒業後、ロスアンゼルスにてG. ライトー氏に、ウィーン国立音楽学校にてA. ナヴァラ氏に師事。静岡音楽館のレジデントカルテット、紀尾井シンフォニエッタ東京、アンサンブルoftウキョウ、岡山潔弦楽四重奏団のメンバー。1981年第50回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位。86年京都市芸術新人賞をはじめ、87年京都府文化賞奨励賞、2004年京都府文化賞功労賞を受賞。93年~2003年、ゆふいん音楽祭音楽監督。東京藝術大学教授。

審査員 斎藤 建寛(さいとう たつお)



桐朋学園大学音楽学部卒業。同大学音楽学部研究生修了。のちにスイス・ジュネーブ音楽院修了。東京国際音楽コンクール室内楽の部に1位なしの第2位入賞。名古屋市より都市文化奨励賞、大阪市より第3回咲くやこの花賞などを受賞。これまでにドイツ、スイス、ポーランドの各地でリサイタルを行うほか、国内でもパッハの「無伴奏チェロ組曲全6曲」を毎回1曲ずつ織り込んだプログラムによる「斎藤建寛リサイタルシリーズ6回」、小品のみによるリサイタル「愛の音」「愛の音part2」、「魂のソナタ」などを開催した。これまでに斎藤秀雄、井上頼豊、日比野忠孝、ギー・ファロー、アンジェイ・ジェルスキの諸氏に師事。現在、相愛大学音楽学部教授・音楽学科長、日本チェロ協会評議員。

審査員 花崎 薫(はなざき かおる)



東京藝術大学在学中、ドイツ学術交流会給費留學生としてベルリン芸術大学留学。東京藝術大学在学中に安宅賞を受賞。1981年、第50回日本音楽コンクール、チェロ部門第3位入賞。1986年、文化庁在外研修員としてドイツ、カールスルーエ音楽大学に留学。長年にわたり、新日本フィルハーモニー交響楽団の首席チェロ奏者として、歴代の指揮者のもとで、オーケストラを支えた。現代音楽のアンサンブル、東京シンフォニエッタのメンバーとしても活躍し、2011年同団としてサントリー芸術財団、佐治敏三賞を受賞。現在、愛知県立芸術大学音楽学部教授、武蔵野音楽大学非常勤講師。2013年、ベートーヴェン、チェロとピアノのための全作品のCDを発売。また、メンバーを務めるエルデーティ弦楽四重奏団より、ハイドンその他のCDを発売している。

審査員 藤森 亮一(ふじもり りょういち)



京都市立堀川高等学校音楽科(現、京都市立京都堀川音楽高等学校)を経て、1982年東京音楽大学に特待生で入学。同年第29回文化放送音楽賞を受賞。1983年第52回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位。1986年第21回東京国際音楽コンクール弦楽四重奏部門・斎藤秀雄賞受賞。1987年、NHK交響楽団に入団。1990年ドイツに留学し、ミュンヘンでさらに研鑽を重ねる。2000年より、チェロ四重奏「ラ・クアルティエーナ」を結成。現在、NHK交響楽団首席奏者を務めるかたわら、ソロやアンサンブルの領域でも意欲的な演奏を繰り広げ、国内外のアーティスト等と活発に共演。現在、東邦音楽大学特任教授、国立音楽大学客員教授を務め、後進の指導にあたっている。

審査員 松波 恵子(まつなみ けいこ)



桐朋学園音楽科で学んだ後、パリに留学。1975年から92年まで新日本フィルハーモニー交響楽団で首席奏者を務めた。第34回日本音楽コンクール第2位。1972年パリ国際チェロコンクール特別賞受賞。1973年G・カサド国際チェロコンクール第3位。佐藤良雄、斎藤秀雄、アンドレ・ナヴァラの各氏に師事。現在、桐朋学園大学、東京音楽大学で指導にあたる。2007年パッハ「無伴奏チェロ組曲」全6曲のCDをリリース。